

NO.2 建築板金

全日本板金工業組合連合会理事
千葉県板金工業組合理事長 磯野 恒夫氏

今回ご紹介する方は夷隅郡大多喜町で建築板金を営む有限会社中野金属代表取締役 磯野恒夫さんです。

国の卓越技能士「現代の名工」



千葉県板金工業組合理事 磯野氏にお会いするため(有)中野金属社屋内に設けられた組合事務所を、訪問しました。

千葉県板金工業組合理事長の立場からお話を伺いました。

◇組合の活動内容をお聞かせください。

当組合は、多くの支援機関や関係団体と積極的に連携を図り、組合員の経営力向上と新規組合員の増加を目指して、様々な情報提供事業を行っています。

その一端として、昨年は第42回千葉県板金大会（於：鴨川グランドホテル）を開催し組合員や取引先、来賓180名と共に、業界発展による社会貢献、融和団結、並びに不況克服を誓うと共に、功績のあった組合員に対する顕彰を実施し、合わせて建築板金の現況や新機材・器具等についての情報提供を行いました。

同時に第27回銅板加工作品美術展を併設し、優秀作品に対しては、知事賞などの表彰状が贈られる等、出展者にとって、講習会・勉強会で習得した技術の成果を発表する場として年々、関心が高まっており、板金大会とともに大きな組合事業となっております。



◇品質保持、技能向上への取組はいかがですか

熟練技能を育成する観点から、基幹技能者の有資格者に対して特例講習を行い、36名が基幹技能者の資格を得ました。また千葉県技能祭（於：ポロテクセンター千葉）では30名が花瓶製作に挑み優秀な作品を作り上げる等様々な形で技能向上を支援しております。

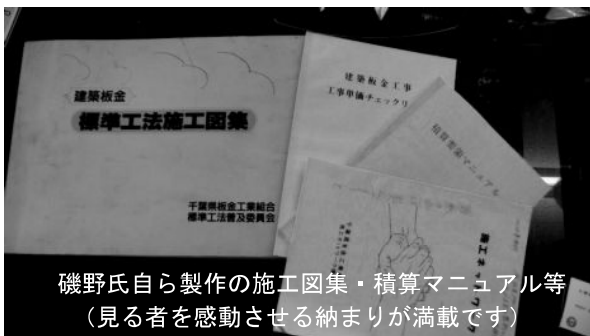


最近では

- ①責任施工・保障制度活用増進
- ②福利厚生事業の充実
- ③各地、各イベントへの積極的参加・出展
- ④組合員のホームページ開設を助成し仕事の確保につなげると言った方面に力を注いでいます。各委員会の活動も活発に行われ、組合事業も年々充実し、意識も高揚してきております。青年部主催で行われた支部対抗ボーリング大会では、70名もの参加者となり、家族ぐるみで和気あいあいの1日となりました。これも品質保持、技能向上に繋がると考えております。

◇後継者の指導育成

組合員の技能向上のために、独自のアイデアによる花瓶等の銅板加工技術を、更に半田付け後の「仕上げケレン法」薬品による着色前処理の方法等を改良し広く講習指導をしております。また、技能検定試験の受験生のため、組合で講習会を行っています。理事長自ら屋根板金工事施工図集と積算要領指導書等を作成発行し、組合員に講習、指導しています。



◇現代も脈々と受け継がれる伝統。

神社仏閣の屋根工事は一般住宅の施工部分に加えて伝統的意匠やその美観が求められます。そのためには、折る、曲げる、叩く、をもとに蓄積したノウハウを応用する高度な技術が要求されます。



超幅広加工機 (コンピュータ制御で円柱も可能)

◇千葉県板金工業組合様

磯野理事長、本日はお忙しい中ありがとうございました。この度の黄綬褒章の栄に浴されたこと、誠におめでとうございます。日頃業界や団体のため、精力的に活動されたたまものと存じます。先日は、当協会賀詞交歓会においでいただき、誠にありがとうございました。今後とも当協会との交流、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ねらい

私達建築士は、建築の設計と監理の業務を通して、世の中に残るもの、つまりもの「技」づくり に日々取り組んでいます。良いものを造るには、当然のこととしてその細部にまで、精通していなければなりません。しかし設計者は、その業務の性質上、施行管理者にその意思を伝えるところまでで、ほんとうの施工者である職人さんとの交流はほとんどないのが実情です。実際のものに触れ、体感する機会には乏しいと言えます。もの「技」づくり を考えたとき、これで良いのでしょうか。建築を構成する、各職方の仕事に、十分な理解と知識の習得は、建築に深い洞察を与える建築士の仕事に欠かすことはできません。そこで今後、ものづくりの最前線の方々の団体と、積極的に交流をはかり、意見をお聞きし、生きた情報を得ることによりよりよい作品(もの「技」づくり)創りに活かしていきたいと思っています。

社団法人 千葉県建築士事務所協会